



1・9 校区別の集合写真撮影
 2・5・8・13 友人たちと笑顔でカメラに納まる 3 成人の決意をそれぞれの胸に 4 ホール前の受け付け 6 あでやかな振り袖が会場を彩った 7・10 友人たちとの記念写真撮影 11 式典の企画・運営を行った新成人実行委員の皆さん 12 恩師からのビデオレターに笑顔を浮かべた



二十歳の抱負



つちや はるか
土屋 遥さん
(東ヶ丘)

中学時代は吹奏楽部に所属していたのでよく図書館ホールで演奏していました。今は美術大学に通っており将来は美術系の仕事をしたいと思っています。親に迷惑をかける自立した大人になりたいです。



おの ふゆが
大野 楓雅さん
(上津久礼)

小学校3年生から野球を始めて、菊陽中時代に中体連の郡大会で優勝したのがいい思い出です。やろうと決めたことは最後までやり抜く強さを持ち、社会人野球の選手になれるよう一生懸命頑張ります。

小学校時代、運動会の応援団長を務めたのが思い出です。今は福岡の専門学校で柔道整復師を目指して勉強しています。来年はいよいよ国家試験なので、いい結果を出して熊本に帰ってきたいです。



おがた あきら
尾方 晃さん
(新町)

昔からの夢だった美容師を目指して専門学校に通っています。今は東京で一人暮らしをしているので、母のありがたみを強く感じるようになりました。早く一人前になって母に恩返しをしたいです。



さいとう ゆり
齊藤 友梨さん
(光の森2町内)

新たな一歩

菊陽町成人式が1月7日、菊陽町図書館ホールで開催されました。今年、本町では370人が成人を迎え、式典で後藤三雄町長は「これからの輝かしい人生の中で、知性と心身を磨き、何事にも努力を惜しまず全国、世界に羽ばたいて」と激励。新成人代表の上村真菜実さんは「私は社会人1年目で笑顔とやる気をモットーに大好きな菊陽町の職員として働いています。」

二十歳の門出

平成30年菊陽町成人式



④堂々と発表した新成人代表・上村真菜実さん
 ⑤久々に会った恩師との会話が弾む

社会人になって感じるのは、自分で学び続けなければ何も知らないままに終わってしまうということ。誰かに教えてもらうのを待つだけでなく、自分で疑問や学ぶ姿勢を持ち続けることで、先輩たちから学んだことを先輩に伝えていき、皆から信頼される職員になりたい」と誓いました。

式典の後、恩師からのビデオレター上映がありました。新成人は懐かしい恩師からのメッセージに歓声を上げていました。

